

## 生活支援の充実に向けた取組のコーディネート方法に関するグループワーク

### グループワークの主な目的

- 参加者の間で現在の取組内容や独自の取組の工夫などを情報交換
- 今後、各地域で生活支援の活動を推進していくために有効な支援方策等を検討
- ⇒ グループワークの終了後、記入用のシートと発表用のシートを事務局で回収し、報告書に集約する予定です。

### 【グループワークを始める前に…】(30分)

- (1) まずは、グループ内で簡単な自己紹介  
(組織理念、活動地域・内容、特徴的な取組 等)
- (2) グループの中で、司会と書記を決定
  - 司会:グループワークの全体進行役
  - 書記:ポイントになる発言内容の記録役
- (3) 記入用のA4シートに自分の活動内容や考え方について記入

### 【グループワークの進め方…】(60分×2テーマ(共通と個別))

- (1) 司会が中心になって、グループ内で自由に情報交換
- (2) 書記が発表用のA3シートに情報交換した内容のポイントを記入  
※ 発表用シートの詳しい記入の仕方は、「発表用シートの使い方」をご参照ください。
- (3) 発表をお願いされたグループは、発表者を決め、全体発表

## 発表用シートの使い方

- 発表用シートは、記入用シートのそれぞれの項目に対して、A3シートを1枚ずつ記入します。
- ※ グループの共通項目を洗い出す為には、各自の取組をお伺いする必要があるため、このような形式にしています。
- グループ内の各自の取組を左側の「集約部分」にまとめていただき、右側の「ポイント部分」に共通の効果的な取組など、議論した際のポイントを中心にまとめてください。
- ※ 記入の際は、左側の集約部分は箇条書き等で要点のみ記入いただき、右側の部分を可能な限りわかりやすく記入するようお願いします。

### 集約

### ポイント

	(1)何からはじめるか、活動のきっかけ、概要	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等
Aさん		
Bさん		
Cさん		
Dさん		
Eさん		
Fさん		

## 共通テーマ:地域における生活支援の活動の創出に向けた取組方策

グループ:( ) 記入者所属:( ) 氏名:( )

### ■ 現在の取組について

- (1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要
- (2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか  
【担い手】

【地域資源】

- (3) 現在の取組の課題

### ■ 今後の取組に向けて

- (1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など

## 個別テーマ①:生活支援に関するニーズや地域資源の現状などの状況把握

グループ:( ) 記入者所属:( ) 氏名:( )

### ■ 現在の取組について

- (1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要
- (2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか  
【担い手】

【地域資源】

- (3) 現在の取組の課題

### ■ 今後の取組に向けて

- (1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など

## 個別テーマ②:生活支援の関係主体間のネットワークの構築・強化

グループ:( ) 記入者所属:( ) 氏名:( )

### ■ 現在の取組について

(1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要

(2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか  
【担い手】

【地域資源】

(3) 現在の取組の課題

### ■ 今後の取組に向けて

(1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など

## 個別テーマ③:地域のニーズと地域資源のマッチング

グループ:( ) 記入者所属:( ) 氏名:( )

### ■ 現在の取組について

(1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要

(2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか  
【担い手】

【地域資源】

(3) 現在の取組の課題

### ■ 今後の取組に向けて

(1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など

**共通テーマ：地域における生活支援の活動の創出に向けた取組方策**

担当テーマ：( ) グループ：( )

■ 現在の取組について

(1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

**共通テーマ：地域における生活支援の活動の創出に向けた取組方策**

担当テーマ：( ) グループ：( )

■ 現在の取組について

(2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか

【担い手】	【地域資源】	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 共通テーマ:地域における生活支援の活動の創出に向けた取組方策

担当テーマ:( ) グループ:( )

### ■ 現在の取組について

(3) 現在の取組の課題	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 共通テーマ:地域における生活支援の活動の創出に向けた取組方策

担当テーマ:( ) グループ:( )

### ■ 今後の取組に向けて

(1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

**個別テーマ①:生活支援に関するニーズや地域資源の現状などの状況把握**

担当テーマ:( ) グループ:( )

■ 現在の取組について

(1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

**個別テーマ①:生活支援に関するニーズや地域資源の現状などの状況把握**

担当テーマ:( ) グループ:( )

■ 現在の取組について

(2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか

【担い手】	【地域資源】	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

**個別テーマ①:生活支援に関するニーズや地域資源の現状などの状況把握**

担当テーマ:( ) グループ:( )

■ 現在の取組について

(3) 現在の取組の課題	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

**個別テーマ①:生活支援に関するニーズや地域資源の現状などの状況把握**

担当テーマ:( ) グループ:( )

■ 今後の取組に向けて

(1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ②：生活支援の関係主体間のネットワークの構築・強化

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 現在の取組について

(1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ②：生活支援の関係主体間のネットワークの構築・強化

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 現在の取組について

(2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか

【担い手】	【地域資源】	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等



## 個別テーマ②：生活支援の関係主体間のネットワークの構築・強化

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 現在の取組について

(3) 現在の取組の課題	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ②：生活支援の関係主体間のネットワークの構築・強化

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 今後の取組に向けて

(1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ③：地域のニーズと地域資源のマッチング

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 現在の取組について

(1) 何からはじめるか、活動のきっかけ、概要	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ③：地域のニーズと地域資源のマッチング

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 現在の取組について

(2) 活動にあたって、必要な担い手や地域資源をどのように確保するか

【担い手】	【地域資源】	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ③：地域のニーズと地域資源のマッチング

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 現在の取組について

(3) 現在の取組の課題	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等

## 個別テーマ③：地域のニーズと地域資源のマッチング

担当テーマ：( ) グループ：( )

### ■ 今後の取組に向けて

(1) 現在の活動をさらに展開したり、継続的なものにしていく上で必要な工夫や支援など	共通の効果的な取組・ポイント・重視点等



平成25年度 生活支援サービスのコーディネーターに関する研究フォーラム

アンケート用紙

問1 (1) 地域において、生活支援の基盤整備を推進していくためには、本フォーラムでお伝えしている以下のような取組のコーディネーター機能について、どの程度重要と考えますか。(○で囲んでください。) また、その中から特に重要と考えるものを3つまで選んで、右端の欄に○をつけてください。

項目	1. 非常に重要	2. まあ重要	3. など重要なもの	4. あまり重要ではない	5. 全く重要ではない	特に重要と考える ○機能(3つまで)
a.高齢者のニーズや地域資源の状況把握	1	2	3	4	5	
b.不足するサービス・支援の創出	1	2	3	4	5	
c.担い手(ボランティア等)の発掘・養成	1	2	3	4	5	
d.担い手(ボランティア等)の活動の場の確保・調整	1	2	3	4	5	
e.活動主体間の組織化・連携強化	1	2	3	4	5	
f.住民の支援のニーズと地域資源のマッチング	1	2	3	4	5	
g.住民や活動主体の活動のニーズと地域資源のマッチング	1	2	3	4	5	
h.地域住民に対する活動の普及啓発	1	2	3	4	5	
i.行政との連携・情報共有(施策立案に向けた提言等)	1	2	3	4	5	
j.ネットワーク組織(協議体)の設置	1	2	3	4	5	
k.その他(具体的に: )	1	2	3	4	5	

問1 (2) (1) で示しているようなコーディネーター機能を担う者について、どのような名称がらざわしいと考えますか。(○で囲んでください。)

- 生活支援サービスコーディネーターでよい
- 変更したほうがよい ⇒ (理由をご記入ください: )

(具体的な名称をご記入ください: )

問2 問1 (1) のa~jについて、あなたの地域では現在どの程度実施できていますか。(○で囲んでください。) また、できていない場合はその具体的な内容を、できていない場合はその理由をご記入ください。

項目	1. 1. 十分できています	2. 2. いる程度です	3. 3. ほとんどない	4. 4. あまりない	5. 5. 全くできていません	左記で、[1. 十分できている]は、どのような活動・方法が効果的であったかを教えてください。[3. ほとんどない]から[5. 全くできていません]は、できていない理由をご記入ください。
a.高齢者のニーズや地域資源の状況把握	1	2	3	4	5	
b.不足するサービス・支援の創出	1	2	3	4	5	
c.担い手(ボランティア等)の発掘・養成	1	2	3	4	5	
d.担い手(ボランティア等)の活動の場の確保・調整	1	2	3	4	5	
e.活動主体間の組織化・連携強化	1	2	3	4	5	
f.生活支援のニーズと地域資源のマッチング	1	2	3	4	5	
g.住民や活動主体の活動のニーズと地域資源のマッチング	1	2	3	4	5	
h.地域住民に対する活動の普及啓発	1	2	3	4	5	
i.行政との連携・情報共有(施策立案に向けた提言等)	1	2	3	4	5	
j.その他( )	1	2	3	4	5	

問3 (1) 今後、本フォームでお伝えしているようなコーディネーターを育成する研修を厚生労働省や都道府県、市町村などが実施する場合には、以下の項目はどの程度必要になるとお考えですか。(○で囲んでください。)

項目	1. 非常に必要	2. まあ必要	3. どちらでもない	4. あまり必要ではない	5. 全く必要ではない
a. 行政説明（施策方針や制度概要など）	1	2	3	4	5
b. コーディネーターの役割や機能に関する講義	1	2	3	4	5
c. 先進事例によるケーススタディ	1	2	3	4	5
d. 地域の活動主体間の情報共有（民間企業等が提供している生活支援に関するサービスの情報等（例、ハウスクリーニングサービスや見守り等）	1	2	3	4	5
e. 生活支援の取組の推進に向けた具体的な活動方法に関する演習	1	2	3	4	5
f. 厚生労働省による全国統一的な研修の実施	1	2	3	4	5
g. 都道府県や市町村による地域の実情に応じた研修の実施	1	2	3	4	5

問3 (2) (1)と同様に今後の研修を実施する場合には、(1)に挙げられている内容の他に、必要と考えるテーマや講義・演習の内容があればご記入ください。(自由回答)

テーマ	
内容	

問3 (3) (1)と同様に今後の研修を実施する場合には、研修の受講時間として、どの程度が適切だと思いますか。(○で囲んでください。)

1. 1日程度  
2. 1.5日程度  
3. 2日程度  
4. 2.5日以上

問4 今後、地域において、生活支援に関する取組のコーディネーター機能を自身や自身の所属組織が担っていくことを想定した場合には、不明点や疑問点・不安要素などがあれば自由にご記入ください。(自由回答)

--	--

問5 所属している組織の概要についてご記入ください。

(1) 所属団体 (複数回答可)

1. コミュニティサポートセンター神戸  
2. さわかや福祉財団  
3. 市民福祉団体全国協議会  
4. 全国移動サービスネットワーク  
5. 全国コミュニティライブラリサポートセンター  
6. 全国社会福祉協議会  
7. 全国農業協同組合中央会  
8. 全国老人給食協力会  
9. 日本生活協同組合連合会  
10. その他 ( )

(2) 組織の名称等

法人格		主な活動地域	
組織名称			
参加者氏名			
連絡先	(電話番号)		
	(メールアドレス)		

※ 参加者氏名及び連絡先は、報告書のとりまとめにあたって、問5 (5) の取組事例に関してピアリング等を行う際に活用させていただきます。

(3) 主な活動内容 (複数回答可)

1. 介護保険サービス  
2. 介護保険外の生活支援サービス  
3. その他 (高齢者以外の障害や子育てに関する支援等)

(4) 活動地域で提供している主な生活支援サービスの種別 (複数回答可)

1. 外出・移動支援  
2. 配食・食事  
3. 家事援助  
4. 交流サロン・コミュニティカフェ  
5. 困りごとへの対応  
6. 見守り・安全確認  
7. 介護者支援  
8. 移動加算  
9. 食や抱っこ  
10. 権利擁護  
11. その他 ( )

(5) 生活支援の基盤整備に向けた取組事例の提供のお願いについて

活動地域における生活支援の基盤整備に向けた取組事例について、特徴的な取組の概要を以下の様式に入力できる範囲で記入ください。

【特徴的な取組の参考例】

- 地域住民主体の活動の立ち上げ支援（担い手の育成、育成した担い手と活動の場のマッチング等）の取組
- 高齢者の支援ニーズを踏まえた地域に不足しているサービスの創出・確保の取組
- 地域の中の多様な関係者（行政、地域包括支援センター、提供主体、地域住民等）が連携している取組
- 高齢者の生活支援のニーズと多様な生活支援の活動をマッチングしている取組 等

取組の主体	
取組に関与する者	
取組の概要・ポイント (箇条書き等で簡潔に)	○
取組のきっかけ	
行政の関与 (補助や支援等)	
その他（課題や今後の展開等）	

※ 本項で記載いただいた内容については、後日詳細な内容をお電話等でお聞かせいただいた上で、本調査研究事業の報告書にまとめさせていただきますことがあります。

質問事項は以上になります。回答にご協力いただきありがとうございます。





**「地域における生活支援サービスのコーディネーターの育成に関する調査研究事業」報告書**

---

平成26年3月 発行

株式会社 日本能率協会総合研究所

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目1番地 22号 TEL 03(3578)7947 FAX:03(3578)7614

---